

2024年1月9日

草津市議会議長 山元 宏和 様

草津市議会会派 미래의風

会長 八木 良人

草津市議会 미래의風の2023年度政務活動費実施研修（会派研修）について、下記のとおり報告いたします。

記

- 【タイトル】 Code for Japan Summit 2023 (<https://summit2023.code4japan.org/>)
- 【日時】 2023年11月25日（土）13時～18時
- 【場所】 BaseQ 東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 6F
- 【主催】 一般社団法人コード・フォー・ジャパン(<https://www.code4japan.org/>)
- 【後援】 デジタル庁(<https://www.digital.go.jp/>)
- 【参加者】 八木良人 藤本晶
- 【研修概要】

Code for Japan Summit は2014年から開催している国内最大級のシビックテックカンファレンスです。Code for Japan は、シビックテック（市民が主体となって自分たちの街の課題を技術で解決する）コミュニティづくり支援や、自治体への民間人材派遣などの事業に取り組む非営利団体です。より良い未来に向けて、立場を超えてさまざまな人たちと「ともに考え、ともにつくる」ための活動を行っています。その活動も10年目となり、様々な分野における研究発表がありました。

【タイムテーブル】

1. オープニング 一般社団法人コード・フォー・ジャパン
2. キーノートスピーチ

ゲヒルン株式会社 代表取締役 石森 大貴

Code for Japan Founder 関 治之

以下、参照

	HALL1	HALL2	STUDIO
13:00	13:00 - 13:30 30 min オープニング		
13:30	13:30 - 14:20 50 min 社会をハックする	13:30 - 14:20 50 min キーノート (ライブビューイング)	
14:00			
14:30			
14:40	14:40 - 15:20 40 min シチズン・インクルージョン	14:40 - 15:00 20 min 多様社会に向けた情報提供において「写真」が出来ること	14:40 - 15:20 40 min ChatGPT×SFプロトタイピング：AIに短編SF小説を書かせて未来を予測する方法
15:00		15:00 - 15:20 20 min シビックテックは生活困窮問題に何ができるか	
15:30	15:30 - 16:10 40 min METI DXの軌跡・定員さまDXの神髄 〜ツールはデジタル(D)、変える(X)はマインド、推進は体当たり〜	15:30 - 15:50 20 min Web3が拓く「協力」の未来	15:40 - 16:20 40 min リビングラボ・セーブポイント〜スナック「キーク」のママがご案内します〜
16:00		16:00 - 16:10 10 min How to vTaiwan OpenAI?	
16:30	16:20 - 17:00 40 min DataOpsで共創しよう、これからのオープンデータ利活用促進	16:20 - 16:40 20 min NPO×IT ~NPODX活用をともに考える	16:40 - 17:20 40 min ブリゲードミートアップ2023
17:00		16:40 - 17:00 20 min テクノロジーとアートで、ローカルの多様な価値を守る	
17:30	17:10 - 17:50 40 min AMAアリーナ	17:10 - 17:30 20 min 情報型エコポイントもりほろソーシャルハックデー	
18:00	17:40 - 18:10 30 min クロージング		

(※参考 <https://summit2023.code4japan.org/>)

【セミナー参加目的について】

市民がテクノロジーを活用して、行政の問題や社会課題を解決する取り組みのことを「シビックテック活動」といいます。オープンデータや技術を使った支援・取り組みについて草津市という地方行政において活用できる導入事例や取り組みについて考察するため今回のサミットに参加しました。

【研修・セミナー内容について】

基調講演 (A-1 セッション)

情報セキュリティ事業などを手掛け、防災アプリ「特務機関 NERV 防災」を 2019 年 9 月にリリースされたゲヒルン株式会社の代表取締役、石森大貴さんをお招きし、「社会をハックする」と題し、防災アプリ開発中のできごとを中心に、これまでに遭遇したオープンデータ・防災情報データの課題や、情報アクセシビリティ、社会課題の解決（ハック）に焦点を当てた。またトーク後は Code for Japan 代表の関も交え、私たちのシビックテック活動の原点にもなった東日本大震災での sinsai.info や、シビックテックに携わる人が爆発的に増える契機となった東京都の新型コロナウイルス感染症対策サイトなどでのオープンデータや開発なども含めて、これまでの技術活用やこれからの社会ハックについてクロストークを行った。

ゲストトーク (A-2 セッション)

デザイン領域セッションとして、これまで、Apple、IDEO、PlayStation、Sony、

Theranos、Samsung、Adobe、Meta、Microsoft において、分野横断的な工業デザイン・CMF チーム、ビジュアル・インタラクティブデザイン、プロダクトマネジメントを率い、起業家として 2 つのスタートアップの創設者でもあり、現在は IDEO Tokyo(<https://jp.ideo.com/>)の Managing Director を務める Ana Arriola-Kanada (アリオラ金田・アンナ) さんが登壇。

「Citizen Inclusion (シチズン・インクルージョン)」と題し、AI/ML (人工知能と機械学習) などが急速に普及していく現代において、倫理、インターセクショナルデザイン (人種、性別、階級、性的指向、性自認など複数の個人のアイデンティティが組み合わさることによって起こる様々な差別の現状に目を向けて、マイノリティの中でも更に社会からの注目が集まりづらい差別を受けている当事者を可視化し、融合していくデザイン) やサーキュラリティ (循環性、資源枯渇に伴う製品や資源の価値を永続的に再生する力) を含めて、これからの未来をつくる私たちの考えるべきことや役割について講演し意見交換を行った。

ゲストトーク (A-3 セッション)

METI DX の軌跡・泥臭さこそ DX の神髄 ～ツールはデジタル(D)、変える(X)のはマインド、推進は体当たり～

経済産業省の DX を知っていただき、行政 DX をさらに推し進めたい！ 制度所管課室のオンライン化支援など現場のデジタル化から、データ利活用・生成 AI まで行政における最新の取り組みと今後の展望について、華やかな面だけではなく、しっかりと使えるものにするべく泥臭く取り組む DX の神髄について、3 つのパートにわけて講演。 ・現場の動き／DX 支援の実際 ～行政における予算・調達プロセスを DX 支援の視点からご紹介～ ・水際

対策強化に対する制限緩和措置に係る申請・行政職員による短期間でのオンライン化・データ活用のあゆみと展望 ～新時代におけるデータと AI との協奏～

経済産業省 大臣官房 DX 室 Fuyuko Kanai

経済産業省 大臣官房 DX 室 室長補佐 Koichi Tsukioka

経済産業省 大臣官房 DX 室 デジタル化推進マネージャー

Hitomi Nakayama / Norihiko Tanabe / Osada Masashi / Takeyama Shinya

【考察】

草津市においても、ICT（情報通信技術）を活用して行政サービスの効率向上や市民サービスの向上を図る取り組みが進んでいます。電子申請サービスや LINE などを利用しており、昔と比べれば行政サービスが充実しています。持続可能な都市計画と国際協力を通じて、創造的なイノベーションと協力関係の構築が、市の発展を促進する鍵となります。地域資源の活用やスマートシティの概念を取り入れ、開かれた姿勢で国際社会と連携しながら、草津市はより魅力的で持続可能な未来を築いていくために ICT や DX 推進のための教育を取り入れてより活性化していく必要があります。

【補足・summitの様子】

	<p>オープニング</p> <p>全国各地から 200 名以上の方が参加。チーム一丸となり、日本の行政と市民をつなぐ ICT の未来について語り合う場が設けられた。</p> <p>オープニングでは一般社団法人コード・フォー・ジャパンの説明と世界各国のコード・フォーメンバーからのビデオメッセージなど国際的な活動も取り組まれていた。</p>
	<p>社会をハックする</p> <p>ゲヒルン株式会社 代表取締役 石森 大貴様と Code for Japan Founder 関 治之様のトークでは社会におけるシビックテックの必要性・重要な役割について語られた。例えば、縦割りの行政がそれぞれで管理している河川について、それぞれの河川のナンバーを統一し、河川に関するそれぞれの管理施設をまとめて見える化する等、地道な作業で行政の礎を強固にする取り組みなど印象に残った。</p>



グラフィックレコーディング

全てのセミナーでグラフィックレコーディングが書かれていた。参加できなかったセッションも後でどのような内容だったか把握したり、見返したりできるシステムであった。



ブリゲード ミートアップ

Code For Kusatsu

全国各地（北海道から奄美まで）の取り組みや活動について発表する場がありました。草津での活動報告を八木が担当しました。

全体の集合写真



[HOME](#) > [活動](#) > Code for Japan Summit

Code for Japan Summit



What (概要)

Code for Japan Summitは、年に一度のシビックテックの祭典です。他の地域の活動を知り、仲間とつながり、次の一步を踏み出すためのイベントです。2014年から2019年までは全国各地で開催、2020年と2021年はオンライン、2022年はハイブリッドでの開催となりました。2023年は10周年を記念して、日比谷・有楽町に会場を設け、久しぶりのリアル会場でのカンファレンスとなります。

2023年度のWebサイト：<https://summit2023.code4japan.org/>

2022年度のイベントレポート：<https://www.code4japan.org/news/event-20220917-cfjsummit>

キーノート (基調講演)



六



にリリースされたゲヒルン株式会社の代表取締役 石森大貴さんをお招きし、Code for Japan 代表理事 関と対談していただきます。

****石森 大貴さん **ゲヒルン株式会社 代表取締役**

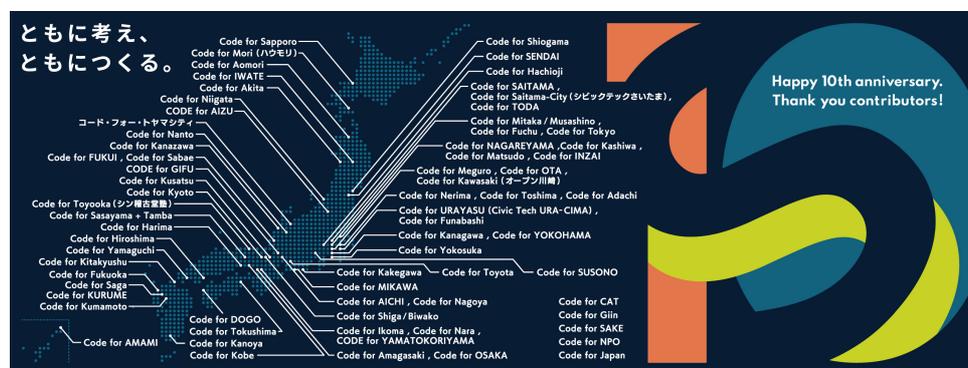
10歳でプログラミングを始め、12歳からレンタルサーバーサービスを開始。2010年7月にゲヒルンを設立。ECシステムの脆弱性診断やWebサービスの開発やインフラ基盤・ストレージ基盤の設計や構築などを行う。2011年3月の震災を受け、Twitter(X)上でヤマ作戦を実行。特務機関NERV (@UN_NERV) アカウントで防災情報を発信。2019年9月には、**特務機関NERV防災アプリ**をリリースし、開発・運営。

イベント概要

日時：2023年11月25日(土) 会場：BaseQ 収容人数：500名程度 配信：YouTube ※イベントの一部をライブ配信します。URLが決まり次第、参加者に連絡しますので、イベントページ・Peatixのメッセージをご確認ください。主催：一般社団法人コード・フォー・ジャパン ウェブサイト：<https://summit2023.code4japan.org/> ハッシュタグ：
#cfjsummit Slack チャンネル：<https://cfj.slack.com/archives/C03H1KPRWF8>

10周年記念グッズ

10回目のサミットを記念して、Code for Japanとのパートナーシップ申請を出していただき、ブリゲードネットワークに参加していただいている皆さんとのシビックテック日本地図をマッピングし、手拭いをデザインしました。



Brigadeネットワーク参加団体：<https://www.code4japan.org/brigade/all>

今回の一覧には、2023年6月20日にBrigadeネットワーク参加団体の皆様にお送りした『【依頼】パートナーシップ締結のブリゲードの皆様へ（継続意思とサミットグッズ掲

六



ード名を掲載しております。

グッズ（手拭い）は印刷済のため、グッズ掲載の受付は終了していますが、Webサイトや資料に掲載するマップについては更新が可能です。6月20日のメールを見落としていた等、パートナーシップの継続有無をご連絡いただけないブリゲードの代表の方は、メール返信等で現在の状況についてお知らせください。また、今後について検討中や判断に迷っている場合などもその旨ご連絡いただけますと幸いです。

ともに考え、
ともにつくる。



 Slackワークスペースについて

 Notionコミュニティ・ポータルについて

イベント情報 [🔗](#)



[情報セキュリティについて](#)

[プライバシーポリシー](#)

[Code of Conduct](#)

© Code for Japan